

村ら(2005)は保育所にアンケート調査を行った結果、落ち着きのない行動により保育現場で問題性や困難性を問われたものは87.4%が男児であったとし、本郷ら(2003)の調査も「気になる子ども」の83%は男児であったと報告している。われわれの相談室においても、男女比は従来の報告どおりであった。次に、相談室を利用した子どもの診断結果をみると、PDDが19名(67.7%)と最も多く、集団活動の中でその障害特性をはっきりと確認することができた。診断結果については、担当保健師とスタッフで協議し、保護者の気持ちはまだ十分に受容できていない場合は子どもの特徴を保護者と確認した後、かかわり方などの具体的なアドバイスをただけで診断名は伝えなかった。一方、積極的に診断を求める保護者については診断名を告知し、本の紹介をするなどより理解が深まるように助言した。また、集団行動に著しい問題が認められる場合や保護者の不安が強い場合は専門の療育機関を紹介した。虐待については、保育園で疑われていた児が1例いたが、児童相談所の心理士がスタッフとしているため、把握してもらう機会となった。

相談室の特徴として、問診と個別評価をするだけでなく、小集団の中で遊びや制作を通して他の子どもとかかわる時の行動面を評価し、かつ、その場面に保護者が同席していることにあると考えている。結果的に、子ども集団の中での問題をスタッフと保護者が共有することになり、思っていた以上に集団行動ができない姿を見て悲しいとグループ途中で参加できなくなった例もあったが、家庭とは異なる子どもの集団生活の中での困難さを保護者と共有し、対応について助言する場となった。子どもの評価について、榊原(2002)は言語や認知と言った能力に含まれない子どもがこの社会に適応していくために必要な「社会的知能」というべき能力の発達

を捉える必要性を指摘している。相談室の中でも、子ども集団の中で難しさが顕著になったり、他の子どもと少し触れただけで攻撃するのは触覚過敏からくる不快感のためであることが判明した子がいるなど、スタッフ自身も、子どもたちのアンバランスな発達を確認し、聴覚、触覚などの感覚面の難しさを理解する機会となった。子どもの中には、集団活動に参加できないが、個室において1対1で実施した発達検査では正常範囲と判定される子や、逆に、集団活動の中でリーダーシップをとる子が、個別評価では発達指数が境界域レベルという場合もあり、個別評価と集団評価の両方で子どもの姿が明確になることがあった。集団活動の中で困難さが顕著となったのは、PDDの子どもに多かった。

相談室のもう一つの特徴として、保健師を中心として地域での連携がとれやすいことである。担当保健師は利用前に電話や訪問による相談や利用中の保護者の気持ちの確認、終了後の助言など住んでいる地域で保護者の不安に寄り添い、子どもがよりよい環境で育つことを支援している。相談室終了後、むやみに子どもを怒ることが少なくなった、少しだけけれど子どもの行動が理解できるようになったという声や、園に結果を伝えると先生たちもいっしょに勉強をし、取り組んでくれているというところや相談室に足を運んでくれる先生もいた。今後、相談室をさらに充実していくためにアンケート調査を実施したいと考えている。

以上より、この相談室は、かかわりにくい子、ちょっと気になる子を評価し助言していく場として有用であり、保健所で実施していることで、保護者が相談に行きやすく、地域での連携を進めることにつながった。また、従来の健診だけでは捉えにくい子がいることも判明した。今後も健診のあり方の検討や教育機関との

連携を考慮しながら，継続していきたいと考えている。

本論文の要旨は第94回日本小児精神神経学会(名古屋市，平成17年10月)において報告した。また，本研究は平成17年度厚生労働科学研究「子ども家庭総合研究事業」の研究協力として行った。

文 献

- 本郷一夫，澤江幸則，鈴木智子，他（2003）：保育所における「気になる」子どもの行動特徴と保育者の対応に関する調査研究．発達障害研究 25：50-60
- 中村仁志，藤田久美，林 隆，他（2005）：幼稚園および保育園における落ち着きのない子どもの困難性と対応について．小児保健研究 64：26-32
- 榊原洋一（2002）：アスペルガー症候群と学習障害．講談社+α新書

*

*

*

発達に遅れを持つ子どもに対する早期発見 システム開発に関する研究

— 1：6 健診における観察項目マニュアル作成の試み —

石岡由紀・高田 哲・細木玉恵

発達に遅れを持つ子どもに対する早期発見 システム開発に関する研究

— 1 : 6 健診における観察項目マニュアル作成の試み —

石岡由紀*・高田哲**・細木玉恵***

はじめに

今日、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害の子どもたちの手による重大犯罪が大きな社会問題（杉山2005、小林2005、佐藤2005、十一2005）となっている。さらに広汎性発達障害の子どもに対する虐待事例報告（藤川2005）または不登校により専門医療機関まで紹介された事例において高機能広汎性発達障害と診断される割合が高いという報告（杉山2005）もなされている。その一方で彼ら広汎性発達障害を持つ子どもが加害者ではなく被害者になる可能性が高いこと、また彼らの育てにくさや社会の理解不足による疎外感など保護者である立場からの提言（植原2005）、さらに広汎性発達障害を持つ子どもたちを教育現場で支える教員による提言（水野2005）がなされるなど、広汎性発達障害をめぐる問題は今や私たち教育に携わっている人間にとって避けては通れない問題であるといえる。

そのような現状をふまえ、永田（2005）高橋（2005）は自閉症児の早期発見およびそれに伴う早期介入の必要性を述べている。これは、社会を騒がせた重大犯罪に手を染めた広汎性発達障害を持つ子どもたちの多くが、家庭裁判所などに係属するまで児童精神科など専門医療機関による診断を受けていないこと（十一2005）とも深く関連しているといえるのであるが、現在広汎性発達障害

を正しく早期に診断することができる児童精神科医の数は少なく、診断を受けるまでの待機患者を数多く抱えているという現状が存在するのである。杉山（2005）は「早期に診断が可能となるシステムを構築し、虐待やいじめなどの迫害体験から児童を守り、現在の適応を良好に保つことで、このグループ（高機能広汎性発達障害）の触法行為は予防が可能であることが示唆される」と述べている。早期診断、早期介入システムの構築の必要性については速やかになされるべき重大課題であると言える。

このような新しいシステム開発を行うためには医療、福祉、教育の連携を持つ必要がある。診断機関としての児童精神科医を中心とする専門医療機関、その後のフォローアップを行う福祉・教育機関の連携が求められている。

そこで、本研究においては1:6健診において広汎性発達障害の疑いのある幼児のスクリーニングツールの開発を行い、その有効性を検討することとする。本稿は1:6健診に直接携わることが多い保健師に対してスクリーニングツールの紹介とその観察方法または観察の要点などを記したマニュアル作成に関する報告である。なお、本マニュアルは、英国のBaron-Cohenらによって考察されたCHAT（Checklist for Autism in Toddlers）さらには、VirginiaらによるCHAT-23を日本語訳したものである。

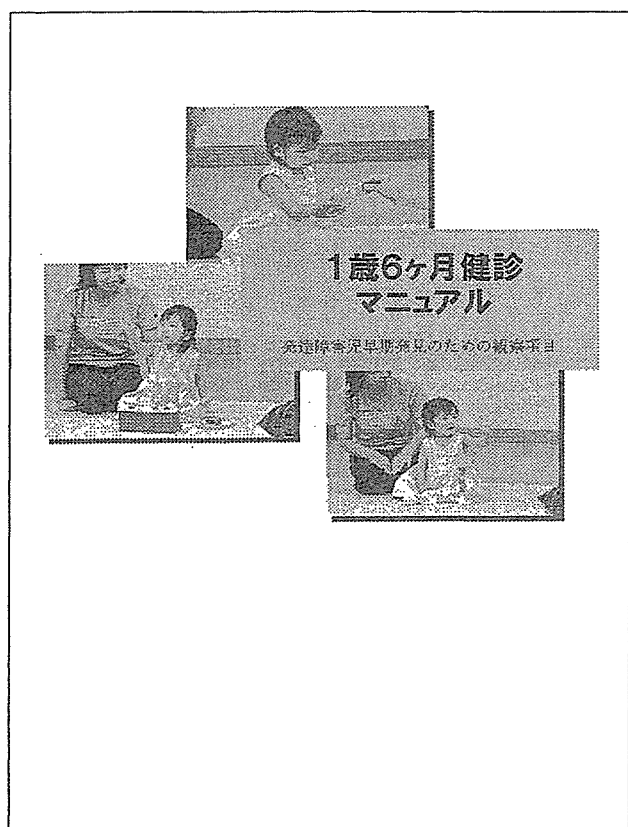
われわれはその使用にあたり、原著者から許しを得て翻訳し、その後逆翻訳を行った。

*本学教員

**神戸大学

***本学福祉障害児教育研究所研究員

1歳6ヶ月健診マニュアル



観察の目的

1歳6ヶ月の幼児における ①ことばの理解の状況 ②ふり／まねの合否の状況 ③指差しの有無の状況 ④巧緻性の発達の状況を確認し、今後の発達障害児早期発見のためのチェックリスト作成の基礎とするためのデータとします。

対象児の年齢

1歳6ヶ月～1歳9ヶ月

準備するもの

チェックリスト・筆記用具・おもちゃ（ぬいぐるみ・ティポットとカップ・1.5cm角の積み木10個・その他適宜） 撮影用ビデオ一式×2セット

実施方法

この観察は、実施者と子どもおよびその保護者の個別面接による実施を前提としています。（ただし、実施者のほかにビデオ撮影および記録者が必

要です。）

実施時の注意

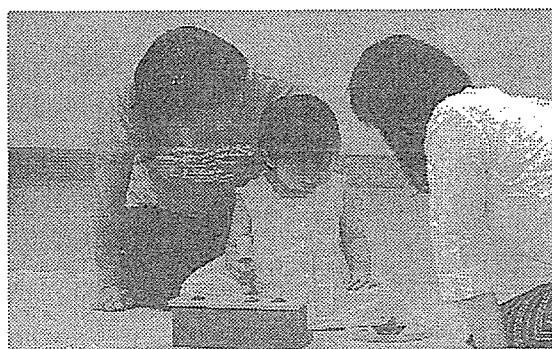
観察の実施に当たっては、まず次のような一般的な注意が必要です。

- ①実施者は観察を実施する前に、この内容と方法を十分に理解するとともに、教示方法や記録方法に慣れておくこと。
- ②実施者は、子どもおよび保護者とのラポールに留意し、観察中子どもの興味を保つようにすること。
- ③実施者は、観察を行う部屋の明るさ・静かさなどに注意し、良好の環境条件の下で観察を行うこと。

上記のことを確認した上で観察を実施します。

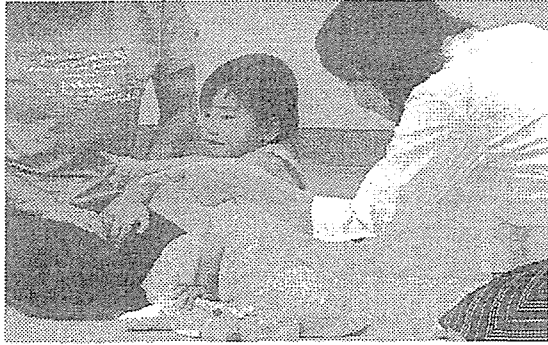
観察の実施

- ①「お部屋にお入りください」と声をかけ、入室を促します。
- ②おもちゃを見せたり、一緒にさわったりして、子どもと保護者がリラックスして遊べるようにする。

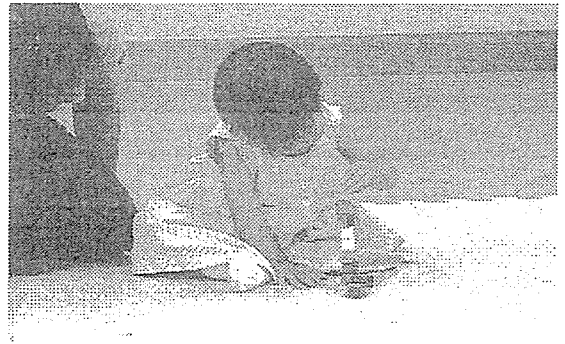


- ③部屋の雰囲気慣れてきたころを見計らって「お子さんのお家での様子をお聞かせいただくために、この用紙のご記入をお願いしてもよろしいでしょうか。」また、「答えにくい項目がありましたら、お声をかけてください。」と声をかけ、チェックリストの記入を促します。
- ④保護者の記入が終わったら、子どもの注意を向けるように「〇〇ちゃん」と声をかけ、手の届かないところ（2～3メートル先）にあるおも

ちゃを指差し、「ほら、あのおもちゃを見て！」
と言って、子どもがおもちゃの方を見るかどう
か確認します。



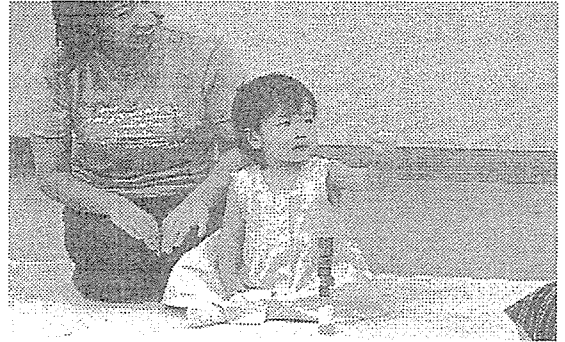
あります。この積み木がつめるかな。」と言っ
て、実施者が積んで見せ、その後子どもが積み
木を積むかどうか確認します。また、積めた場
合は何個積めたかを確認します。



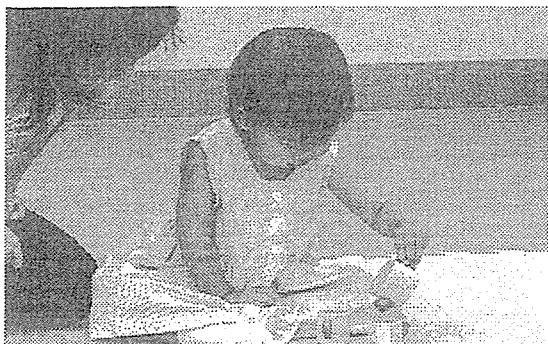
⑤ 「〇〇ちゃん」と声をかけ、「電気はどこにあ
りますか。」と言って、子どもが電気のある方
を見たり、指をさしたりするかどうか確認しま
す。



⑧ 「バイバイ」と言うと、バイバイと言ったり手
振ったりできるかを確認します。



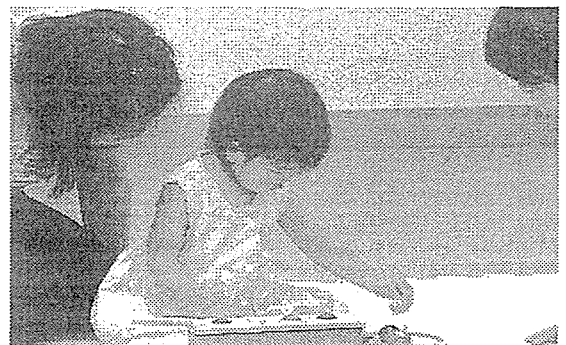
⑥ 「〇〇ちゃん」と声をかけ、おもちゃのポット
とカップを見せ「お茶を入れてください。」と
言うと、子どもがお茶を入れるまねをしたり、
カップで飲むふりをしたりするかどうか、確認
します。



観察後の説明

観察終了後、撮影したビデオテープを利用して、
保護者にこの観察の要点と、1歳6ヶ月のお子さ
んの発達状況と、観察したお子さんの発達の状況
について説明をします。

1、自由遊びでの確認

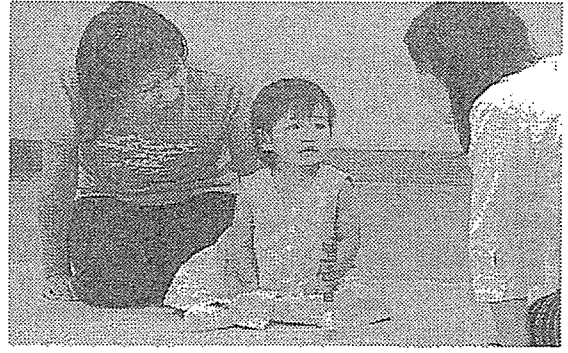


⑦ 「〇〇ちゃん」と声をかけ、「ここに積み木が

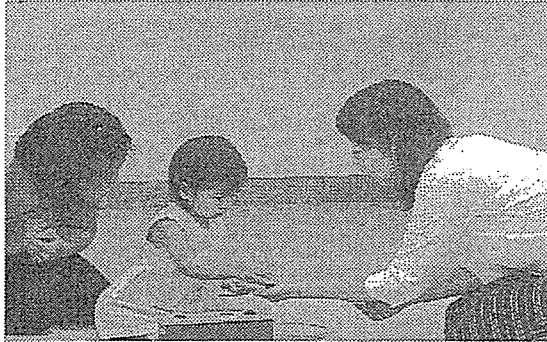
いつもと違う場所に来た時の緊張の有無



保護者がそばにいる時のリラックス状態



人が言っていることに対する理解の状態

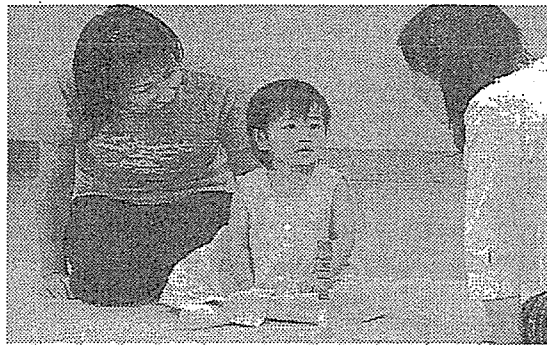


保護者以外の人との関係の持ち方の状態

3、聞かれた物を、指をさして答えることができるかどうかの確認



人が言っていることに対する興味の有無



実施者との視線合致の有無

2、大人が注意を向けた（おもちゃの）方向を見ることができるかどうかの確認

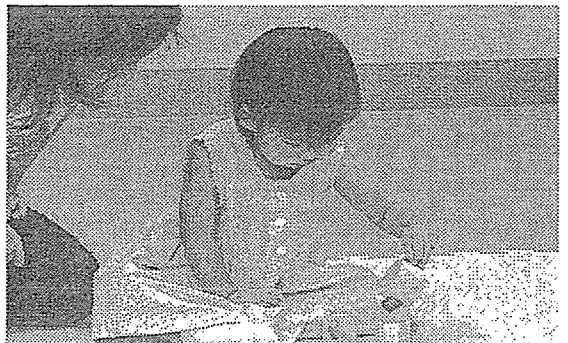


人が言っていることに対する理解の状態

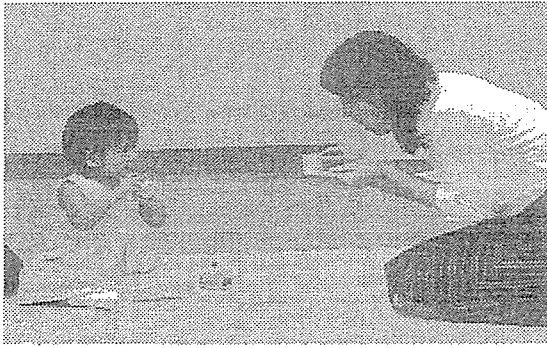


人が言っていることに対する興味の有無

4、ポットとカップを使って、お茶を入れたり飲んだりするまねができるかどうかの確認

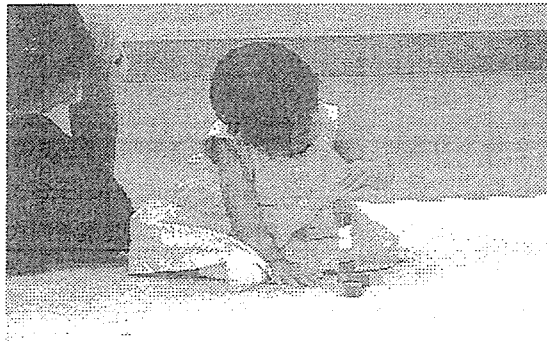


～のふりをする事の合否



人が言っていることに対する理解の状態

5、積み木を積むことができるかどうかの確認

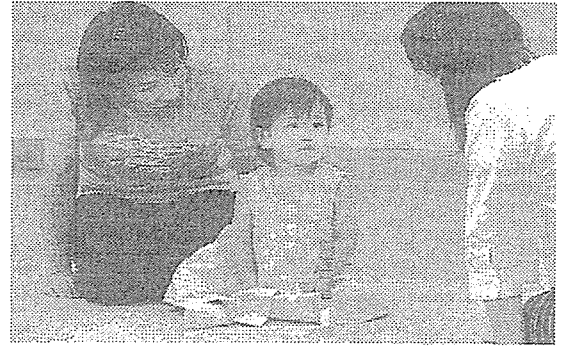


巧緻性の発達の状況（1歳6ヶ月でおおよそ3個の積み木を積むことができる）



人が言っていることに対する理解の状態

6、バイバイすることができるかどうかの確認



実施者との視線合致の有無



人が言っていることに対する理解の状態

今後の課題

本研究では、現在までスクリーニングツールのマニュアルとしての、本稿報告におけるリーフレット、またはDVD作成を行ってきた。今後は、本ツールの有効性を検討するための調査を兵庫県の3市町村において実施する予定である。

いうまでもなく、適切な早期発見・早期診断は

必要不可欠な事項であるといえる。しかしその後のフォローアップがなされることがないのであれば、それは無意味な単なるラベリングでしかない。広汎性発達障害といわれる子どもがその人らしく生活できる社会を実現していくためには、適切な診断とケアを継続的に受けることができるシステム作りが必要であるものと考えられる。

資料

発達チェックリスト

なまえ:()

生年月日: 年 月 日

実施日: 年 月 日

< セクションA > 保護者の方に伺います

	質問項目	ない (いいえ)	ほとんど ない	時々ある	よくある (はい)
1	あなたのお子さんはゆすられたり、あなたのひざの上でパウンドさせたりすることを喜びますか				
2	あなたのお子さんは他の子どもに興味を示しますか				
3	あなたのお子さんは物に登るのが好きですか(例えば階段のような)				
4	あなたのお子さんは「いないいないばー」や「かくれんぼ」を楽しみますか				
5	あなたのお子さんは電話をかけたりお人形で遊んだりというような「ごっこ遊び」を楽しみますか				
6	あなたのお子さんは何かを要求するために指さしをしたことがありますか				
7	あなたのお子さんは自分の興味のあることにあなたの注意を向けようとして、指さしをしたことがありますか				
8	あなたのお子さんは小さなおもちゃ(ミニカーや積み木)を正しく(なめるだけ、さわるだけ、落とすだけなど以外)使って遊ぶことができますか				
9	あなたのお子さんは何かを見せるために物を持ってきたことがありますか				
10	あなたのお子さんは1～2秒以上あなたと目があいますか				
11	あなたのお子さんは音に対して敏感すぎる(耳をふさぐなど)と言うことがありますか				
12	あなたのお子さんはあなたの顔を見たり、あなたが微笑んでいるのを見て笑顔になりますか				
13	あなたのお子さんはあなたがしたことをまねしますか				
14	あなたのお子さんは名まえを呼ぶとそれに反応しますか				
15	あなたのお子さんは部屋の向こう側にあるおもちゃを指さすと、その方向を見ますか				
16	あなたのお子さんは歩きますか				
17	あなたのお子さんはあなたの見ているものを見ようとしますか				
18	あなたのお子さんは顔の近くで奇妙な指の動かし方をしますか				
19	あなたのお子さんはあなたの注意をひこうとしますか				
20	あなたのお子さんは耳が聞こえないのではないかと疑ったことはありますか				

21	あなたのお子さんは人が何を言っているのか理解していますか				
22	あなたのお子さんはボールと何かを見つめていたり、目的もなくただ歩き回るといったようなことはありますか				
23	あなたのお子さんは慣れない場面に直面した時あなたの様子をさぐるようにあなたの顔を見ることがありますか				

<セクションB> 専門家による観察

観 察 項 目		各解答欄に○をつけてください			
1	観察時間中、お子さんと目があいましたか	全く あわない ()	めったにあ わな ()	時々あう ()	よくあう ()
2	お子さんの注意を向けてから何か興味のある物さして「ほら、あのおもちゃを見て！」と言ってお子さんの顔を見てください。そのお子さんはあなたの指さす方向を見ましたか			はい ()	いいえ ()
3	お子さんの注意を向けてからおもちゃのポットとカップを見せ、「お茶をいれてください」と言ってください。そのお子さんはお茶をいれるまねをしたり飲んだりしましたか		はい ()	まねを する ()	いいえ ()
4	「電気はどこにありますか」と言うと、そのお子さんは電気を指さしましたか	何もしない ()	指さすだけ ()	見ただけ ()	見てかつ 指さした ()
5	そのお子さんは積み木を積むことができましたか。もしできた場合は何個積みめましたか () 個)			はい ()	いいえ ()
6	「バイバイ」と言ってお子さんの顔を見てください。そのお子さんはバイバイをすることができましたか?			はい ()	いいえ ()

<観察の記録>

参考文献

- Baron-Cohen S, Cox A, Baird G et al: Psychological markers in the detection of autism in infancy in a large population Br J Psychiatry 168 1996
- A Modified Screening Tool for Autism (Checklist for Autism in Toddlers [CHAT-23]) for Chinese Children
- Virginia Wong, Lai-Hing Stella Hui, Wing-Cheong Lee, Lok-Sum Joy Leung, Po-Ki Polly Ho, Wai-Ling Christine Lau, Cheuk-Wing Fung and Brian Chung *Pediatrics* 2004; 114; 166;-176 DOI: 10.1542/peds.114.2.e.166
- 杉山登志郎「アスペルガー症候群の現在」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 小林隆児「主体性をはぐくむことの困難さと大切さ」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 十一元三「少年事件・刑事事件と広汎性発達障害」
- 藤川洋子「アスペルガーと虐待の不思議な関係」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 永田雅子「早期および新生児の母子援助」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 植原淳子「アスペルガー症候群とともに」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 高橋修「アスペルガー症候群の早期診断と対応」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 水野浩「小学校生活とアスペルガー」そだちの科学No.5 日本評論社 2005
- 佐藤幹夫『自閉症裁判』洋泉社 2005

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

- [HOME](#)
- [ぽっとらっくとは?](#)
- [プログラム内容](#)
- [参加案内](#)
- [ボランティア募集](#)
- [アクセス](#)

■個人情報保護方針

更新履歴

- 2007.2.19**
「ぽっとらっく 3月のご案内」をアップしました。
- 2007.1.31**
「ぽっとらっく 2月のご案内」をアップしました。

プログラム内容

講習会プログラム
大学教員を中心とした研究者や指導者から、発達障害に関する様々なテーマについて講義を受けることができます。



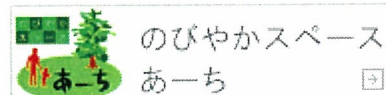
子どもプログラム
保健師、保育士、臨床心理士、作業療法士を目指す大学院生、学生、及び研修を目的とした若手保育士が、マン・ツー・マンで託児を行います。



関連リンク



神戸大学医学部保健学科



Copy right ぽっとらっく All rights reserved.

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

[HOME](#)[ぽっとらっくとは？](#)[プログラム内容](#)[参加案内](#)[ボランティア募集](#)[アクセス](#)

■個人情報保護方針

「ぽっとらっく」とは？

神戸大学は神戸市と協力し、平成17年9月に旧神戸市灘区役所跡に新しく子育て支援センター「あーち」を創設し、発達支援教室「ぽっとらっく」を開設しました。

発達障害をもつ子ども達への効率的な支援体制を構築するためには、地域に根ざした早期支援の仕組みを作ることが重要です。



「ぽっとらっく」では、隣接する神戸市灘区民ホールでご家族・専門職者への「講習会プログラム」を行っています。

それと共に、保護者の方々が安心して受講できる様、講習会の間お子様をお預かりする「子どもプログラム」も行っていきます。

Copy right ぽっとらっく All rights reserved.

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業



→ HOME

→ ぽっとらっくとは?

→ プログラム内容

→ 参加案内

→ ボランティア募集

→ アクセス

■ 個人情報保護方針

プログラム内容

ぽっとらっくでの1日の流れ

「講習会プログラム」と「子どもプログラム」の1日の流れを表記しています。個々について詳しく知りたい場合は、ページ最下部にあるそれぞれのボタンをクリックして下さい。



- 13.30 参加受付開始：当日プログラム配布、各印刷物開始、名札着用、諸経費徴収
 13.50 受付を済ませた保護者から講習会会場（灘区民ホール）へ移動

保護者会（区民ホール 会議室）

子どもプログラム

- | | | |
|-------|-----------------|--------------------|
| 14.00 | 講演のみ参加者の受付、資料配布 | |
| 14.10 | 講演 | 絵本・ボール・おもちゃ等を使った遊び |
| 15.10 | 保護者の意見交換 | |
| 15.25 | グループに分かれて話し合い | 状況に応じ遊び場を調整 |
| 15.40 | 次回案内、会員手続き等の案内 | |
| 15.45 | 「あーち」へ移動 | |

「あーち」

- 15.50 全員「あーち」へ集合
 保護者に保育の様子を伝える
 アンケートの記入、次回申し込み受付
- 16.00 終わりの挨拶
 後片付け
 ボランティア意見交換
- 17.00 解散

講習会プログラム

子どもプログラム

Copy right ぽっとらっく All rights reserved.

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業



- HOME
- ぽっとらっくとは?
- プログラム内容
- 参加案内
- ボランティア募集
- アクセス

■個人情報保護方針

講習会プログラムについて

講習会プログラム

「ぽっとらっく」では、ご家族の学習・交流を目的とした講習会を行っています。講習会プログラムでは、大学教員を中心とした研究者や指導者から、発達障害に関する様々なテーマについて講義を受けることが出来ます。

講義終了後は、各グループに別れて話し合いを行い講義内容についての意見交換や、ご家族同士での情報交換を行う時間を設けています。



講義を受講されている様子

主なプログラムの内容

講習会プログラムは、講義40分、グループ討議40分、質疑応答40分の計2時間の設定となっています。

これまでの講義テーマ

- 第1回 「発達障害について」
神戸大学医学部保健学科教授 小児科医 高田哲
- 第2回 「保育園での生活 一何を目指とするかー」
神戸親和女子大学助教授 保育士 石岡由紀
- 第3回 「発達障害と手の動き」
茨城県立医療大学保健医療学部講師 作業療法士 大歳太郎
- 第4回 「音楽・絵画を通じて行う発達支援」
神戸大学発達科学部
- 第5回 「音楽と発達支援」
神戸大学発達科学部音楽表現論講座教授 若尾裕
- 第6回 「楽しい音楽療法」
明石音楽療法研究会 音楽療法士 古川和香子
- 第7回 「小学校での発達支援」
神戸市立竜が台小学校 教諭 作信之
- 第8回 「心の理論と発達障害」
大阪リハビリテーション専門学校講師 伊藤斉子
- 第9回 「発達障害児への関わり ーにこにこハウスでの取り組みー」
にこにこハウス療育センター 小児科医 井上美智子
- 第10回 「自閉性障害児への過程における支援」
保護者 小川紗織
- 第11回 「保育園での生活を考える」
神戸親和女子大学助教授 保育士 石岡由紀
- 第12回 「自閉症の理解と支援」
大阪府自閉症発達障害者支援センターアクト大阪センター長 新澤伸子



グループ討議の様子

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

HOME

ぽっとらっくとは？

プログラム内容

参加案内

ボランティア募集

アクセス

■個人情報保護方針

子どもプログラムについて

子どもプログラム

「ぽっとらっく」では、保護者の皆様が安心して講習会に参加できるよう、「子どもプログラム」を実施しています。

「子どもプログラム」では、保健師、保育士、臨床心理士、作業療法士を目指す大学院生、学生、及び研修を目的とした若手保育士がマン・ツー・マンで託児を行います。

又、インストラクターとして大学教員、障害児保育のベテラン保育士、障害児施設に勤務する作業療法士がスタッフへの指示と教育にあたり、子ども達への発達支援と専門職教育を同時に行える体制を作っています。

主な概要

「ぽっとらっく」は、主に毎月第3土曜日の午後「のびやかスペース あーち」で開かれ、灘区民ホールでの家族・専門職者の研修事業と「あーち」での託児研修事業を同時に行っています。

すなわち、家族は子どもと離れて、隣の区民ホールで保育士などの専門職者と一緒に学習会を持つというスタイルをとっています。



「あーち」での子どもの様子

Copy right ぽっとらっく All rights reserved.

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

[HOME](#)[ぽっとらっくとは？](#)[プログラム内容](#)[参加案内](#)[ボランティア募集](#)[アクセス](#)

■個人情報保護方針

参加のご案内

ぽっとらっく参加申し込み方法

申し込み用紙に必要事項をご記入の上、高田研究室に毎月締切日午後16時までにFAXをして下さい。
申込用紙はこちらからダウンロード出来ます。
講習会のテーマは毎回変わります。(各回ごとにお申し込み下さい。)
※講習会プログラムだけの参加は、当日まで受け付けます。

[「ぽっとらっく3月」参加申込書](#)[ぽっとらっくに参加されるご家族の皆様へ](#)

子どもプログラムについて(先着20名になり次第締切りとなります)

子どもプログラムの時間に対象となるお子様への運動療法と音楽療法を行います。
プログラム時間は、午後14時から16時までの2時間です。
ボランティアが保育を致しますが、プログラムの対象となる発達障害をお持ちのお子様を優先させて頂きますので、それ以外のお子様は保護者の方に付き添って頂くことがありますのでご了承下さい。
諸経費(実費)として、お子様お一人につき1回500円を頂きます。
なお、原則的に障害のないお子様にはご参加頂けませんのでご了承下さい。

[「子どもプログラム」のご案内](#)

「ぽっとらっく」会員登録について

会員登録された方には、「ぽっとらっく」の案内を毎月お知らせ致します。
会員の方にはメールでも参加申し込みを受け付けます。

[ぽっとらっく会員登録用紙](#)

「あいち」会員登録とご利用について

「ぽっとらっく」は神戸大学子育て支援センター「あいち」のプログラムです。
「ぽっとらっく」のみを参加される場合でも、お手数ですが「あいち」にて必ず会員登録をお願いします。
登録後は「あいち」で開催される各種プログラムにご参加頂けます。

お問い合わせ・連絡先

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2
神戸大学医学部保健学科 高田研究室

ぽっとらっく担当 高田 哲

TEL & FAX 078-796-4515

E-mail potluck@gaia.eonet.ne.jp

(月・水・金 午前9時～午後16時まで)

Copy right ぽっとらっく All rights reserved.

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

- HOME
- ぽっとらっくとは?
- プログラム内容
- 参加案内
- ボランティア募集
- アクセス

■個人情報保護方針

ボランティア募集

ボランティア募集について

- 1、ボランティア登録書をご記入の上、下記のいずれかの方法でご提出下さい。
登録書はこちらからダウンロード出来ます。

[ボランティア登録申込書](#)[ボランティア参加のご案内](#)

- ① 高田研究室に提出、またはFAX(078-796-4515)にて送信。
原本は当日、小島に渡して下さい。
 - ② 「あーち」事務所にて提出。
 - ③ 申込書をダウンロード出来ない場合は、**高田研究室**まで申込書をご請求下さい。
- 2、受付終了後、事務担当から登録確認の連絡を致します。
 - 3、ボランティア参加の可否について、こちらから確認の連絡がありますので、出来るだけ早く可否について小島のメールアドレス宛にご返答お願いします。

ボランティア手順

- 1、服装・持ち物ー動き易い服装(アクセサリ類はなるべく避けて下さい)
自分用のタオル、手ぬぐい(不測の事態に備えて)
- 2、集合時間ー午後13時
プログラム内容の説明、保育担当の割り当て、保育時の注意について打ち合わせを行います。
各自ボランティアの名札を終了時まで付けていて下さい。
- 3、保育時間ー午後14時～午後16時(予定)
他プログラム参加のお子様もいますので、配慮しながら担当のお子様の保育をお願いします。
- 4、終了時間ー午後17時(予定)
会場清掃後、簡単なミーティングを行い解散とします。
- 5、交通費ー銀行振り込みにて支払われますので、印鑑、銀行口座番号控えをご持参下さい。

[託児のポイント](#)[保護者から聞くこと](#)

お問い合わせ・連絡先

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2
神戸大学医学部保健学科 高田研究室

ぽっとらっく担当 高田 哲

TEL&FAX 078-796-4515

発達支援モデル教室

ぽっとらっく

厚生労働科学研究事業：子ども家庭総合研究事業

- HOME
- ぽっとらっくとは?
- プログラム内容
- 参加案内
- ボランティア募集
- アクセス

■個人情報保護方針

アクセス



お問い合わせ・連絡先

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2
神戸大学医学部保健学科

ぽっとらっく担当 高田 哲

TEL&FAX 078-796-4515

E-mail sowat@people.ams.kobe-u.ac.jp

(月・水・金 午前9時～午後16時まで)

Copy right ぽっとらっく All rights reserved.